

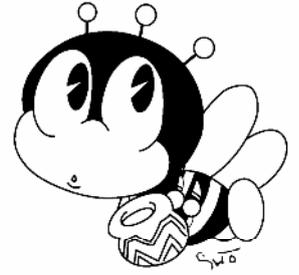
第19号

2005

11.15

マナビ通信

米沢鷹山大学本部だより



市民おもしろなカレツジ

市民が企画し、市民が教え、市民が学ぶ、市民が主役の講座

相撲講話

伊藤 広介先生

相撲講話の第2回目 おらが柏戸「柏鵬時代」を訪ねました。参加者は、40人。講師の先生は3人でした。

室内には、若花田ののぼりやお相撲さんの手形・柏戸の実家の様子やおかあさんの写真などが飾られており、雰囲気は国技館のようです。

はじめに、伊藤さんが名調子で柏戸・大鵬を呼び出しました。柏戸・大鵬の紹介や、佐田の山・豊山等 当時の名力士の紹介の後、フィルムを上映し、なつかしい柏戸・大鵬の名勝負に感心しきりでした。みなさん、相撲が大好きなんですね。柏戸大好きの私も力がいってしまいました。（我妻）

スローライフセミナー パート2

我妻 淳一先生

最終の5回目の講座となったこの日のテーマは「ここに安らぎを取り戻そう」でした。穏やかな口調で時折ユーモアを交えながらの講義でした。爪マッサージやハンドマッサージなども教えていただきました。受講者が2人組になってマッサージをやりあい、和気あいあいとした雰囲気でした。「私も母親にやってあげていて、喜ばれているよ」との講師の言葉がとても印象に残りました。「『がんばらないで』に惹かれて受講した。とてもよかった。」「あと5回くらい講座があるといい」という受講者の言葉を聞きました。取材からの帰り道、なんとなく心が軽やかになった気がしました。（高橋）



呼び出しをする 伊藤氏



がんばらない生活を紹介します 我妻氏

生涯学習フェア

平成 17 年 10 月 8・9 日の二
日間市営体育館 および
駐車場において開催し、
3,500 人の方が訪れました。

絵手紙愛好会

「下手でいい、下手がいい」。絵手紙愛好会のスローガンである。言葉のマジックではないが、会員も体験者もとても救われる言葉。2 h 間の体験者は 200 余名と「生涯学習フェア」事業に参加以来の快挙？ P・C やメールもいいが個性豊かな絵手紙に心のこもった言葉を添えて送ってみませんか。これなら描けると自信を持たれたと確信します。



押花愛好会

私達押花愛好会は、会員 15 名で毎月第 3 土曜日に野山に咲く草花を使い、色とりどりの押花を作っています。

タイルとしおり等の体験コーナーには、親子、友人同士の参加が多く、自分だけの押花作りに熱心に取り組んでいました。

生涯学習フェアに参加して、押花の紹介と親子、友人同士のふれあいのお手伝いできたことが良かったと思います。来年も参加して、いい作品を皆さんにご紹介できるよう、がんばりたいと思います。



山形の野生動物を考える会

置賜ワークグループ

出展 3 回目の今年は、従来からの野生ほ乳類の調査にかかわる展示はもちろん、剥製や標本類などの実物を増やし、ほ乳類のくらしぶりが実感できるように工夫しました。そしてペーパークラフトを中心に、楽しみながらほ乳類に親しみがもて、理解が深まるような体験活動を充実させたつもりです。たくさん子どもたちに参加していただき嬉しく思いました。まずはほ乳類を身近に感じ、その辺の野山で実際に生息していることを知っていただくことが大切と考えています。



東部地区マナビスト 東部文化祭に参加

東部コミュニティセンター主催の「第2回東部文化祭」に東部地区在住のマナビスト8名が協力者として参加しました。

文化祭は展示(12/21)体験(10/22)発表(10/23)と3日間にわたって行われ、体験の部で、環境問題から「地球温暖化について」のコーナーを担当しました。パネル展示と共に環境カルタやソーラーカーなども並べられ、たくさん子どもたちが楽しく遊んでいきました。

その他にも、映写会や受付、景品コーナーなども担当し地区内の交流を深めました。

これを機に、今後ますます地区内活動においてマナビストの力を結集していければと思います。



電気で豆ソーラーカーを動かしています。

中国の緑化事業 (1) 我妻雄子

甘粛省河西回廊地区の緑化事業を見てきました。この地は半乾燥地で、砂漠地帯がずーと広がっていました。1996年から2000年には、約160万ヘクタールの植林植草が行われ、引き続き植栽が計画実行されています。中国にはタクラマカン砂漠をはじめ砂漠があちこちに多いんですね。しかも年3~4kmも広がっているそうです。

みなさんご存知のとおり、中国の砂漠が日本に被害をもたらしています。最近では黄砂が年のべ1,000回も飛んで来て、飛行機をひんぱんに止めました。まあ、日本としては困ることが多いのです。米沢にいと、春の黄砂現象なんてのんきに言ってますが。

まちづくりにかける思い、全国から

上杉鷹山記念全国まちづくりシンポジウムが、10月1日、伝国の杜置賜文化ホールで開催されました。基調講演に立った中田宏横浜市長は、これからの公共サービスの担い手や、行政の意識改革について話されました。地域のコミュニティーの再構築や、積極的な情報公開と明確な目標提示、そして行動であるということ強く主張されていました。

その後、パネルディスカッションが行われ、東海市長、山形県改革推進監、小野川温泉寿宝園女将、米沢市長がパネラーとしてそれぞれの意見を発表しました。この中では、東海市長の市民によるまちづくりアクションプランの策定についての話が最も興味深いものでした。

終了後、参加者による夜楽交流会が上杉記念館で開催され、74名の参加者が「まちづくり」「ひとづくり」「ものづくり」の各分科会に分かれ、全国から集まった有志による活発な意見交換が行われました。

(伊藤)

ODA 民間モニター報告

「外務省 ODA 民間モニター」に4回挑戦して、今年やっと当選しました。山形県からは一人でした。6カ国のうち中国班に配属され、7月下旬の8日間、現地を見てきました。シリーズで見たままをお伝えします。ご意見ご感想をどうぞ。



飛行機の中から 砂漠地帯を見る

紙芝居公演会

南原アンデルセン 永井しのぶ

去る9月27日に伝国の杜において、紙芝居実演の第一人者である右手和子先生を講師にお迎えして「紙芝居の楽しい演じ方」と題して公演していただきました。

声優でもある右手先生の巧みな話術に引き込まれ、実演時の様々な手法に驚き、会場が一体となって楽しい、有意義な時間を過ごす事が出来ました。受講者の満足そうに帰られる姿がとても印象的でした



鷹山大学本部からのお知らせ

学びたいと思う人がより多くの情報にふれられるように様々な情報をお寄せください

○ サークル情報

最近できた新しいサークルはありませんか？

隔年発行の「マナビィ・ステーション～サークル情報編～」の作成にまもなくとりかかります。最新の情報をお寄せください。

○ 指導者情報

様々な分野で知識、経験、特技をお持ちの方、「生涯学習指導者」として指導者バンクに登録しませんか？

隔年発行の「マナビィ・ステーション～指導者情報編～」に掲載し紹介しています。現在約200名の方に登録していただいています。

*「マナビィ・ステーション」は公民館等でご覧いただけます。

○ 講座情報

毎年たくさんの情報をお寄せいただく「米沢鷹山大学ガイドブック」。平成18年4月1日発行予定のガイドブックに掲載する講座、イベント（18年4月～19年3月開催のもの）についての掲載申し込み期間は12月15日～18年1月31日までです。

講演会のおさそい

マナビスト2期会

私たちが学校教育に対してどんなサポートをすることができるかを探るために以下のような講演会を企画いたしました。ご関心ある方のご参加をお待ちします。

日時：12月15日（木）18時～19時

場所：ホテルサンルート9F・飯豊の間

題目：小学校教育と地域の連携

講師：米沢市立西部小学校校長 戎谷 宏氏

放送大学のご案内

平成18年度第1学期（4月入学）乗学生募集が始まります。

募集期間：12月15日～18年2月28日

説明会：18年1月7日（土）14:00～
すこやかセンター

問合せ先：放送大学山形学習センター

山形市城南町1-16-1

023-646-8836

発行：米沢鷹山大学本部
マナビスト

事務局：〒992-0012 米沢市金池3-1-14

置賜総合文化センター4階

TEL 21-6111(内線 6423)

FAX 21-6020

ホームページアドレス

<http://yozan.educ.yonezawa.yamagata.jp/>